

5 2011 月号 No.602

やまつき

育まれた奉仕のこころと共助心〜被災地への募金活動



東館小学校にて

■町長選挙・町議会議員補欠選挙結果・区長会	P2~P3
■交通安全運動・平成22年下半期財政公表・人事関係	P4~P9
■大震災義援金・町の動き	P10~P16
■わが家のイチおし・文化スポーツ団体紹介・はつらつ健康	P17~P18
■短歌・すくすく満1歳・タウントピックス・情報局	P19~P23
■議会だより	P24~P33

矢祭町長に古張允氏再選 矢祭町議会議員に佐川富夫氏初当選

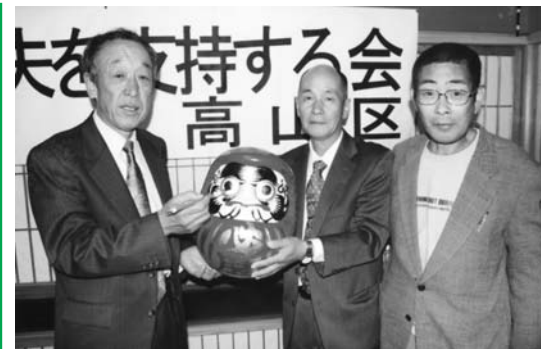
4月24日、28年振りに行われた矢祭町長選挙は、無所属で現職の古張允氏が、2,360票を得票し、2期目の当選を果たしました。
また、同時に行われた矢祭町議会議員補欠選挙は、無所属で新人の佐川富夫氏が、2,539票を得票し、初当選を果たしました。



再選を果たし万歳をする古張氏

当選証書付与式は、4月25日役場会議室で行なわれ、選挙管理委員、富永議長、幹部職員が出席した中、矢祭町選挙管理委員会吉田寿雄委員長から古張允氏に矢祭町長当選証書を、佐川富夫氏に矢祭町議会議員当選証書を付与しました。

その後、吉田委員長、富永議長からお祝いとお励みの言葉が述べられ、これを受け、古張氏から4年間取り組んできた町政を振り返り、総括。そして、これからの4年間の町政運営にかける思いを粛々と述べ、挨拶を行いました。また、佐川氏からは、「選挙運動で訴えてきたことを、これからの議員活動に活かしていきたい。」と議員としての思いの一端を述べました。
なお、古張町長の2期目の任期は、4月30日からで、5月2日に初登庁しました。



当選し必勝ダルマに目を入れる佐川氏

町長選挙開票結果		町議会議員補欠選挙開票結果	
有権者数	5,421人	有権者数	5,421人
投票者数	4,727人	投票者数	4,728人
(うち有効投票者数)	4,674票	(うち有効投票者数)	4,624票
投票率	87・22%	投票率	87・22%
古張 允氏	2,360票	佐川富夫氏	2,539票
鈴木正美氏	2,314票	菊池淳之氏	2,085票
無効	53票	無効	104票
投票しなかった者	2票		



当選証書付与を受ける佐川氏



当選証書付与を受ける古張氏

第1回行政区長会 町と行政区を結ぶ大切な役目

4月4日、第1回区長会を役場会議室で開催し、全21区の区長一人ひとりに、町長から委嘱書を交付しました。

交付後、町長から「各区は、行政機関の一つとしての機能を有しています。町が行革を進めている現在、それぞれの立場から町政運営にご尽力を賜わりたい。」と挨拶。大串自立総務課長から出席している職員を紹介し、会議に入りました。

会議では、各課の事務分掌等を説明した後、各課長から担当業務の内容について説明しました。その後、矢祭町ごみ不法投棄監視員、矢祭町交通対策協議会地区分会長の委嘱書の交付を行ない、さらに、町民号の運行について昨年度と同じくバスを利用した形式で実施することを説明し、協力を求めま



委嘱書の交付

次に、区長会役員選出が行われ、会長に片野隆宝坂区長、副会長に益子敬下関区内区長、鈴木守光中石井区長、会計に高澤正勝関岡区長が選出されました。各区長には、1年間、町と行政区を結ぶ大切な役割を担っていただきますので、何卒、よろしく願います。

平成23年度行政区長(敬称略)

- | | |
|-----------|-------|
| 山野井・金沢区 | 大森 重雄 |
| 館本区 | 小野 博 |
| 桃ノ木区 | 藤田 保男 |
| 石田区 | 増子幸三郎 |
| 上野内区 | 鈴木 一徳 |
| 宝坂区 | 片野 隆 |
| 高野谷地区 | 佐藤 慶一 |
| 追分区 | 吉田 忠 |
| 小田川区 | 加藤 光一 |
| ニュータウン中山区 | 高野 儀一 |
| 下関区内区 | 益子 敬 |
| 上関区内区 | 鈴木 正明 |
| 大塚区 | 柏 定雄 |
| 高山区 | 檜山 利男 |
| 関岡区 | 高澤 正勝 |
| 真木野区 | 鈴木 永一 |
| 内川区 | 高澤 光一 |
| 茗荷区 | 藤田 一郎 |
| 中石井区 | 鈴木 守光 |
| 下石井区 | 鈴木 常正 |
| 戸塚区 | 角田 善光 |



新区長の顔ぶれ

矢祭町を実現しましょう。

交通事故ゼロのマチ

新入学児童、園児の交通事故防止運動の初日、町長、鈴木克昭矢祭町交通対策協議会副会長、佐川守交通安全協会石井支部長が、朝の街頭指導に同行し、町内を一巡しながら、登校する児童生徒や街頭指導に当たる皆さん、そして沿道の住民の皆さんに、交通安全を呼びかけました。

☆スローガン「あぶないよ 会話にむちゅうの登下校」

4月6日から12日までの7日間の運動期間中、町内でもさまざまな交通安全運動が行われました。行政區長さんをはじめ多くの町民の皆さんに、朝の街頭指導にご協力をいただき、集団登校する小学生や自転車通学する中学生の安全確保に努めていただきました。また、道路を歩き交う通行車両のドライバーにも、安全運転の意識づけが図られました。



朝の街頭指導



運動初日、交通指導に出発



交通安全広報

根絶を目指しませんか！「飲酒運転」

飲酒運転は、人命を危険にさらす重大な犯罪行為であり、自分の人生、そして家族の崩壊へとつながります。「近いかから」「どうせ捕まらないから」と安易な考えでの飲酒運転は絶対にしないでください。「飲んだら、乗るな！」「飲むなら、絶対乗るな！」を肝に銘じてください。☆春の全国交通安全運動は、5月11日から20日までの10日間実施します。

- (1) 自転車の安全利用の推進（特に、自転車安全利用五則の周知徹底）
- (2) 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- (3) 飲酒運転の根絶

矢祭町の年別事故発生件数(過去6年間)

年	件数	死者	負傷者
平成17年	32件	2人	46人
平成18年	29件	0人	42人
平成19年	21件	0人	27人
平成20年	27件	2人	31人
平成21年	18件	0人	24人
平成22年	15件	0人	21人
計	142件	4人	191人

「交通安全に県境なし」「やさしく走る」「立て看板を一新」

国道118号沿い茨城県境に設置してある大型の交通安全看板の改修工事が行われ、このほど立派に完成しました。改修前の看板は、老朽化しイメージも悪く、景観をそこなっていました。が、一新した看板は、行き交うドライバーに安全運転を啓発するわかりやすい看板となりました。



一新した看板

スローガン「あぶないよ 会話にむちゅうの登下校」



笑顔で交通安全を約束

交通事故防止運動がスタート

小中学校の新学期がスタートとした4月6日、交通安全協会石井支部(佐川守支部長)で、石井小学校校庭に交通安全テント村を開設し、入学式に出席する新1年生とお父さん、お母さんに交通安全を呼びかけました。支部役員から「入学おめでとう」と声をかけ、防犯ベル、ノートなどが入った袋がプレゼントされると、大きなランドセルを背負った1年生も照れながら、安全な登下校を約束していました。

財政公表

地方自治法並びに町条例の規定に基づき平成22年度下半期（平成22年10月～平成23年3月）における補正予算状況、基金、町有財産及び町債の状況についてお知らせします。

【基金の状況】 より良い町づくりを目指して 基金を有効活用!!

平成22年度末現在において、町が所有している基金の状況は次のとおりです。増額の要因となった大きな理由として、平成23年度より始まる「第4次総合計画」に伴う、各種事業に対する財源として、財政調整基金に積立したためです。

(単位：千円)

区分	平成21年度	平成22年度	増減	基金の説明
財政調整基金	1,225,391	1,833,710	608,319	大幅な減収や災害の発生等に備えるための基金
減債基金	222,658	281,660	59,002	町債の繰上償還財源のための基金
21・ふるさと人づくり基金	107,589	111,432	3,843	町民の人材育成事業のための基金
ふるさとづくり基金	7,182	3,779	△ 3,403	総合計画を基にした豊かな町づくりのための基金
福祉基金	63,670	63,803	133	高齢者事業のための基金
地域振興基金	64	64	—	地域における福祉活動等のための基金
土地開発基金	99,654	99,706	52	公共の利益のための取得事業の基金
肉用牛特別導入事業基金	1,470	492	△ 978	肉用牛資源の確保等の事業のための基金
ふるさと水と土保全基金	10,352	10,372	20	土地改良施設事業のための基金
高田基金	101,857	103,788	1,931	未来を担う子供たちの人材育成のための基金
もったいない図書館基金	1,136	1,136	—	図書館の設備資金のための基金
学校基金	1,655	1,910	255	小・中学校校舎等施設整備事業のための基金
合計	1,842,678	2,511,852	669,174	

【財産の状況】

平成22年度末現在において、町が所有している財産状況は次のとおりです。

(単位：㎡)

区分	土地(地積)	建物(延床面積)	
本庁舎	3,168	1,181	
その他の行政機関	警察(消防施設)	848	
	その他の施設	—	
	学校	87,308	21,211
	公用財産	21,559	7,247
	公園	19,691	—
その他の施設	122,241	20,030	
山林	—	—	
その他	—	—	
計	254,815	49,669	
普通財産	宅地	52,514	294
	畑	3,151	—
	山林	3,341,446	—
	その他	23,763	—
	計	3,420,874	294
合計	3,675,689	49,963	

【町債の状況】

平成22年度末現在の町債残高は次のとおりです。

(単位：千円)

区分	平成21年度末現在高	平成22年度末現在高
1. 普通債	2,227,424	2,018,553
(1) 総務	251,503	234,845
(2) 民生	27,136	11,000
(3) 衛生	132,800	142,790
(4) 農林水産業	294,364	230,420
(5) 商工	224,108	181,501
(6) 土木	505,879	431,956
(7) 消防	113,340	104,695
(8) 教育	678,294	681,346
2. 災害復旧費	54,392	39,594
(1) 農林水産業	12,754	10,612
(2) 土木	41,629	28,982
(3) 教育	9	—
3. その他	1,484,377	1,667,903
(1) 減税補てん債等	87,271	75,991
(2) 臨時税収補てん債	—	—
(3) 臨時財政対策債計	1,397,106	1,591,912
計	3,766,193	3,726,050

【一般会計・特別会計予算補正状況】

(単位：千円)

会計名	9月末現在	10月専決	11月臨時会	12月定例会	3月定例会	3月16日専決	3月臨時会	3月31日専決	平成22年度最終予算	
一般会計	2,916,122	1,042	財源振替	308,009	152,155	財源振替	106,769	16,176	3,500,273	
特別会計	国保	834,038	—	財源振替	▲ 2,236	▲ 54,432	—	2,894	12,268	792,532
	水道	141,571	—	財源振替	1,534	240	—	▲ 1,292	—	142,053
	老人	2,091	—	—	—	▲ 563	—	—	—	1,528
	工場	10,453	—	—	—	—	—	▲ 3	—	10,450
	宅造	9,038	—	—	—	▲ 4,000	財源振替	—	—	5,038
	農排	31,371	—	—	—	—	—	▲ 244	—	31,127
	介護	479,726	—	財源振替	26,411	12,935	—	▲ 2,916	—	516,156
	後期高齢	115,336	—	—	5,348	399	—	▲ 383	10	120,710
	霊園	2,892	—	—	—	1,025	—	—	—	3,917
	合計	4,542,638	1,042	—	339,066	107,759	—	104,825	28,454	5,123,784

【一般会計補正予算の主な内容】

10月専決(補正予算第3号)

補正予算額 1,042千円
 ・県の委託に伴う学校図書館の有効な活用方法に関する研究事業によるものと、小型動力ポンプの購入費になります。

3月専決(補正予算第9号)

補正予算額 16,176千円
 ・各種交付金や国県補助金等の確定による財源調整です。

3月臨時会(補正予算第8号)

補正予算額 106,769千円
 ・特別交付税額確定の増により、財政調整基金に積み立てを行いました。また、各種基金利子の確定に伴う積み立ても行いました。

11月臨時(補正予算第4号)

財源振替
 ・国の給与引下げに準じ職員給与等を減額いたしました。



3月16日専決(補正予算第7号)

財源振替
 ・3月11日に起きた「東日本大震災」に係る災害救助費を計上しました。

12月定例会(補正予算第5号)

補正予算額 308,009千円
 ・スインビアの50mプールの老朽化に伴い、修繕費用を計上しました。また、平成23年度より始まる「第4次総合計画」の財源に充てるため、財政調整基金基金に250,000千円積立てました。

3月定例会(補正予算第6号)

補正予算額 152,155千円
 ・「きめ細かな交付金」及び「住民生活に光をそそぐ交付金」を財源として、温泉交流研修センターリニューアル工事や介護予防運動等送迎車購入費などの事業費を計上しました。

町職員2名が定年退職

3月31日付けを以って定年を迎えた、出納室会計管理者菊池正美氏と町民福祉課主幹兼町民グループ長陳野とし子氏に、町長から退職辞令が交付されました。

交付後、町長から町職員として長年にわたり奉職した2人に対し、労いのことを贈り、感謝の意を表しました。

菊池氏は、昭和44年4月に矢祭町吏員として住民課を振り出しに42年間勤務。陳野氏は、昭和45年4月から保育所を振り出しに41年間勤務し、矢祭町の発展に大きく貢献しました。



辞令を受ける菊池氏



辞令を受ける陳野氏

ともに、公務を民主的かつ、能率的に運営すべき責任を深く自覚し、全体の奉仕者として誠実かつ、公正に職務を執行することを宣誓します。」と宣誓書を読み上げました。

その後、町長から「全体の奉仕者であることを肝に銘じて、公務員であることを自覚し、町づくりに努力していただきたい。今年度から第4次総合計画がスタートしたが、その実現に向けて、若い力で頑張ってもらいたい。」と訓示し、新採用職員に期待を寄せました。

新採用職員を紹介します

氏名 緑川茂一（みどりかわしげかず）
所属課 事業課・産業グループ
分掌 林業・畜産行政関係
出身校 群馬大学工学部
趣味 釣り・映画鑑賞・ドライブ
抱負 一日でも早く仕事に精通するよう努め、矢祭町の皆様に奉仕していきたくです。

氏名 古市奈緒（ふるいちなお）
所属課 自立総務課・税務グループ
分掌 国民健康保険税関係
出身校 東北学院大学教養学部
趣味 映画鑑賞・読書・ラジオを聴くこと・図書館の中を歩き回ること・テニス・習字
抱負 1年前はまさか自分が役場で働くことになるとは思ってもみませんでした。早く仕事を覚え、自分の生まれ育った矢祭町がより良い町になるよう、少しでも貢献できればと思います。

新採用職員2名に辞令交付 誠実かつ、公正に職務を執行することを宣誓

4月1日付け新採用職員に対する辞令交付式が、同日、役場会議室で行われ、幹部職員が立ち会った中、町長から採用辞令を交付しました。

辞令を受けた2人は、町長の前に「私は、ここに、主権が国民に存することを認める日本国憲法を尊重し、かつ擁護することを強く誓います。私は、地方自治の本旨を体すると



宣誓書の読み上げ

町職員人事異動を発令

4月1日付け人事異動に伴う辞令交付式が同日行われ、町長から異動する職員一人ひとりに辞令を交付し、新体制のもとで平成23年度がスタートしました。

人事異動一覧

○農業委員会事務局

事務併任

片野 恵仁

○出納室

会計管理者

本田 覚

○自立総務課

主幹兼総務グループ長
主事

吉岡 弘明
古市 奈緒

○町民福祉課

主幹兼町民グループ長

片野かよ子

○事業課

主任主事兼産業グループ長
主事

高橋 竜一
緑川 茂一

○保育所

所長
主任主査兼主任保育士
主任主査兼主任保育士
主任保育士

本多 文子
菊池 美紀
鈴木 幸枝
松本 春江

○東館幼稚園

園長
主幹兼主任教諭
主幹兼主任教諭
主幹兼主任教諭

富永美智子
樋田 晴江
土屋 吉子
星 尚枝



辞令を受ける本田会計管理者

矢祭分署長に薄葉新一氏 白河地方広域市町村圏消防本部4月1日付け人事異動



薄葉分署長

◇着任日 平成23年4月1日
◇前任地 矢吹消防署・小隊長
◇プロフィール 棚倉町出身で消防署在職歴は37年。郡内の勤務は2度目で、矢祭分署は初めて。棚高時代は、甲子園をめざし野球に明け暮れましたが、幻となりました。社会人になってからは子供たちに夢を託し、スポ少のソフボール指導に力を注いでいます。

◇町の印象 町民の皆さんは「温たか」で、町を「良くしたい」との思い入れが強く感じられます。

◇抱負は 町民の「安全・安心」の負託に応えるため、署員と共に「誠心・誠意」頑張る所存です。

新しい行政相談員に 中石井・金澤正樹氏

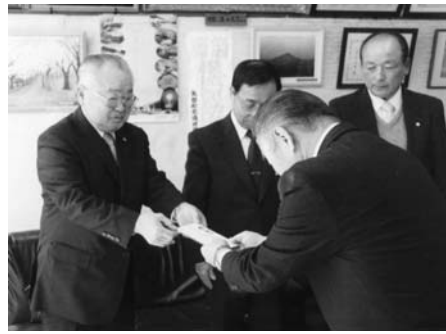
総務省では、矢祭町を担当する行政相談員を平成23年4月1日付けで、中石井の金澤正樹さんに委任しました。
行政相談員は、国・県・市町村などの行政に対する苦情や意見、要望を受付し、皆さんと関係行政機関との間に立って、その解決を促進するよう相談に応じています。
町民の皆様で、何かお困りごとがありましたら、お気軽にご相談ください。



行政相談員の金澤さん



主事 緑川茂一、主事 古市奈緒



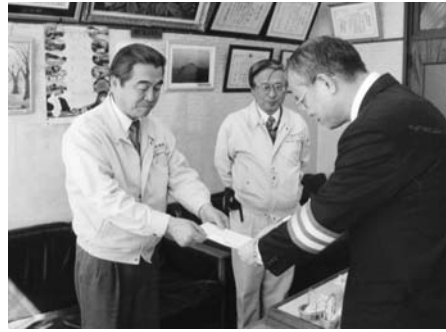
民生委員協議会様



老人クラブ連合会様



建設部会様



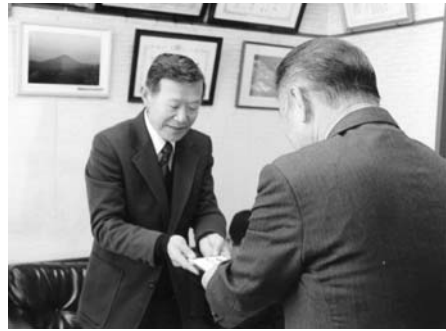
株式会社神田製作所様



矢祭町消防団様



株式会社根本家具店様



館本区様



石田区様



大塚区様

善意を寄せられた皆様すべての写真が掲載できなくて申し訳ありません。

問 担当 佐藤まで
TEL 46-2097



活動のようす

カンガルーくらぶは、今月で開設5年目を迎えました。これもひとえにご利用いただいている皆様のお陰だと感謝しております。これからも親しまれるくらぶであるよう努力していきますので、よろしくお願ひいたします。

カンガルーくらぶでは、随時、会員を募集していますので、お気軽にご入会ください。

◆開催日 毎週 火・水・金曜日(祝祭日、年末年始は休み)

※基本的に週3回開設。場合によっては曜日が変わることもあります。

◆開催時間 午前10時～午後4時

◆開催場所 矢祭町山村開発センター「和室」

◆対象者 就園前の乳幼児とその保護者等

※カンガルーくらぶは、子育て中のお母さんやおばあちゃん、そしてお子さんが集まって、いっしょに遊んだり、お話ししたり、育児などの悩みを相談したりする所です。また、子育てに関するさまざまな情報もあります。

※月1回の子育て講座や「てのひらの会」による絵本の読み聞かせ、季節の催しなども行っています。ぜひ一度、遊びに来てみてください。

カンガルーくらぶで
会員募集中!

大震災被災者への義援金 多くの団体・個人から善意が寄せられました。

3.11東日本大震災により被災された方への義援金が、多くの個人・団体等から町及び社会福祉協議会へ寄託され、支援の輪が大きく広がりました。4月27日現在、日本赤十字矢祭町分会に寄託された義援金の総額は6,694,541円、町へ寄託された義援金の総額は730,000円となっています。善意を寄せられた皆様に、衷心より感謝を申し上げます。

皆様からの心温まる善意が、被災者の救援に役立ち一日でも早く、復興再生しますようお願いいたします。

「東日本大震災義援金」寄託者名簿(順不同・敬称略)

【社会福祉協議会への寄託】

齊藤照子、鈴木ツヤ、菊池恵、中野重美、白石光一、鈴木良一、本多勝一、本多悦子、飯沼悦子、(有)藤田防災電設、藤田保男、永山信也、石川孝光、(株)グリーンサービス福島、青砥正子、菊池良一、KO美容室、佐藤守男、佐藤秀子、草野ケイ子、大木夢乃、白坂彩夏、大木綜一郎、飯沼寿雄、バロドドライ物流センター、鈴木敏之、齊藤栄里、沼田重孝、沼田和子、金澤邦昭、菊池平輔、角田孝雄、角田昌子、和田昌造、宗田武美、矢祭建設(株)社員一同、金沢タイ、白石洋子、永山正子、丸山波枝、佐藤千恵子、緑川百合子、中野裕太、鈴木ツヤ、古張光子、芳賀仁一郎、金沢久子、本田ナミ、本田ミサ、下関河内区、下関河内区2組、下関河内区3組、矢祭町婦人会、鈴木俊二、二階堂章信、大串肇、松村良一、益子芳雄、本田覚、片野かよ子、古市賢、鈴木薫、鈴木直人、熊田美枝、藤田勝典、青砥安彦、鈴木芳明、菊池基之、石井公子、菊池正美、片野順子、金澤順子、片野恵仁、吉岡弘明、菊池嘉宣、増子智巳、大森秀一、菊池克明、菊地修、鈴木大恵子、藤田由香里、高橋竜一、深谷義典、鈴木一徳、片野一美、手のひらの会、菊池茂子、篠田トシ子、石井育代、松田香保里、齊藤登、近藤ユリ、生田目真弓、藤田宗夫、寺島正一、緑川宏子、陳野とし子、松本義勝、大森文子、藤田義広、益子卓也、陳野勝美、中野義洋、金澤翔、菊池恵、深谷義弘、小貫仁士、高宮由佳、緑川大輔、高橋真由美、鈴木郁夫、菊地力雄、鈴木たか、藤田千枝子、佐藤たつ江、鷹部孝一、芳賀輝夫、片野一也、角田良子、大木崇嗣、保住貞子、高澤春子、金沢ヒロ、菊池清文、菊池ちや子、吉田茂、須田勝夫、関岡区役員一同、矢祭町民生児童委員協議会、真木野いきいきサロン参加者、野村一峰、立花政志、和田始子、金澤正夫、芳賀克己、矢祭町選挙管理委員会、藤田豊作、佐川通泰、佐川達郎、矢祭民謡愛好会、佐川典子、鈴木敏正、藤田玄夫、ニュータウン中山区、森本正一、鈴木義治、渡部啓子、社協ヘルパー一同、小室通子、鈴木有子、菊池孝子、若ふじ辰美会、近藤誠子、金澤邦芳、古市茂雄、鈴木正則、本多節子、宗田宣子、鈴木スミエ、本多文子、菊池美紀、鈴木幸枝、松本春江、神野恵美子、金沢尚紀、小林泰子、藤田有子、鈴木良夫、藤田多恵子、上野内区、藤井マサエ、鈴木智津子、矢祭福祉会職員クラブ一同、矢祭町高齢者クラブ連合会、茗荷区、塙良子、榎森敏之、深谷直成、矢祭町石油業組合、菊池麻衣、石井俊博、大滝道明、(株)水戸グリーンサービス従業員一同、塙次郎、松浦楠大、吉岡なおや、大塚優也、鈴木敏之、青砥光利、平成23年度高山区役員一同、矢祭町消防団、富永美智子、片野恵美子、吾妻沙弥香、深谷沙織、前田雅美、鈴木幸子、菊内弘子、星尚枝、土屋吉子、樋田晴江、古張淳子、芳賀好徳、高信充良、星紀久男、後藤一郎、寺島良夫、和田昌造、片野堯夫、(株)神田製作所従業員一同、手元水利組合、佐藤春香、佐藤順子、矢祭歌謡クラブ一同、金沢みつえ、(株)かねかわ、中石井地区いきいきサロン、アゼリヤ学級生一同、松浦由貴、(株)根本家具店、館本区、桃ノ木区、石田区、小田川区、真木野区、大塚区、菊池正一、金川利夫、心をうたう西山教室、菊池奉平、菊池秀雄、菊池敏勝、近藤いえ子、上関河内区、高友会、北陽電機(株)、(有)三次運送、道々水利組合役員一同、日本珪瑯釉薬(株)代表取締役小島大介、矢内光子、矢祭町商工会女性部、アートポップましこ、宝坂区、菊池仁子、河野マツヨ、古市太一、佐藤賢正、鴨志田立夫、高信美智子、佐藤春江、菊池恵子、松本可織、緑川八重子、佐藤智子、伊達直人、菊池恵子、鈴木英子、菊池恵子、深谷三郎、本田キヨ子、金澤恵美子、金澤健至、高信真諭子、匿名15件

【町への寄付者】

福島県町村会、(株)福島情報処理センター、元気な城山ネットワーク、小林正明後援会、緑川建設(株)、矢祭建設(株)、県南建設(株)、佐藤建設(株)、佐川建設(株)、東白衛生協同組合、(株)クレストック、日本珪瑯釉薬(株)代表取締役小島大介、矢祭町商工会女性部、匿名13件

矢祭町消防団役員会 班長に辞令交付

新体制を確立

矢祭町消防団（鈴木桂語団長 団員326名）の第1回役員会が、4月2日（ユール）矢祭で開催され、新たな役員体制のもとで平成23年度がスタートしました。

役員会は、鈴木団長から第1班長の代表、第1班東館の鈴木康洋班長と第2班長の代表、第2班山ノ井の鈴木稔第2班長に辞令を交付し、続いて、本団役員が自己紹介を行い、新班長との面識確認を行いました。

次に、町長が「地域の安心・安全・安寧は、消防団に課せられた大きな責務である。危険を伴うこともあるが消防精神をしっかりと養い、精進してほしい。」と挨拶。続いて、棚倉警察署長代理の花見秀一東館駐在所長、富永盛彦議長、鈴木団長、薄葉新一矢祭分署長それぞれから挨拶を受け、会議に入りました。

会議では、今年度の行事予定や第64回福島県消防協会東白川支部幹部大会参加、その他事務手続き等についての協議を行いました。

新役員の皆さんは、身を引き締め、無火災・無災害にむけて、気持ちを新たにしていきました。



呼名される新班長

本団役員（敬称略）	
団長	鈴木桂語
副団長	菊池健治
副団長	緑川裕之
副団長	榎山利男
第1分団長	鈴木良則
同副分団長	金澤和弥
同副分団長	大木圭一
同副分団長	富永良一
同副分団長	鈴木康洋
同副分団長	鈴木利宣
同副分団長	薄井純一
同副分団長	保科修一
同副分団長	金澤貴志
同副分団長	鈴木俊英
同副分団長	佐川純男
同副分団長	齊藤 勇
同副分団長	本田孝志
同副分団長	菊地武志
同副分団長	菊池昌史
同副分団長	鈴木俊弘
同副分団長	菊池雄市
同副分団長	益子勝彦
同副分団長	鈴木克彦
同副分団長	金澤勝也
同副分団長	本田啓寛
同副分団長	古市高広
同副分団長	佐川嘉紀
同副分団長	増子幸夫
同副分団長	菊池賢一
同副分団長	鈴木郁夫
同副分団長	金沢利広
同副分団長	熊田伸隆
同副分団長	鈴木 治

班長名（敬称略）

第1班（東 館）	第1班長	鈴木康洋	第2班長	小林泰教
第2班（山野井）	第1班長	鈴木利宣	第2班長	鈴木 稔
第3班（宝 坂）	第1班長	薄井純一	第2班長	鈴木裕二
第4班（小田川）	第1班長	保科修一	第2班長	齊藤 龍
第5班（下関河内）	第1班長	金澤貴志	第2班長	金澤芳典
第6班（上関河内）	第1班長	鈴木俊英	第2班長	佐藤 剛
第7班（大 垓）	第1班長	佐川純男	第2班長	寺島広美
第8班（高 山）	第1班長	齊藤 勇	第2班長	榎山一也
第9班（関 岡）	第1班長	本田孝志	第2班長	緑川 賢
第10班（真木野）	第1班長	菊地武志	第2班長	中野恵一
第11班（内 川）	第1班長	菊池昌史	第2班長	蓮見強志
第12班（茗 荷）	第1班長	鈴木俊弘	第2班長	藤田 護
第13班（戸 塚）	第1班長	菊池雄市	第2班長	松本守史
第14班（下石井）	第1班長	益子勝彦	第2班長	鈴木英樹
第15班（中石井）	第1班長	鈴木克彦	第2班長	佐川篤志
第16班（高野谷地）	第1班長	金澤勝也	第2班長	佐藤貴允
第17班（追 分）	第1班長	本田啓寛	第2班長	本田忠一



第1班長へ辞令交付



第2班長へ辞令交付

両幼稚園で入園式

4月8日、東館・石井両幼稚園の入園式が挙行され、石井幼稚園に4歳児13名、東館幼稚園に4歳児35名と5歳児1名の元気な園児が入園しました。

式は、両園とも多くの来賓、保護者が見守る中、担任の先生から名前を呼ばれると「ハイ」と返事をし立ち上がり、園長先生から入園が許可されました。



石井幼稚園



東館幼稚園

入園した園児たちは、幼稚園という小さな社会への一歩を踏み出し、その後姿を見つめる保護者からは、これからの成長に大きな期待を寄せられています。

矢祭町保育所で入所式

矢祭町保育所（本多文子所長）の入所式が4月5日挙行され、19名の園児が入所し、保育所で新たな生活がスタートしました。

式は、担任の保育士から入所児一人ひとりを呼名し、本多所長が入所を許可しました。その後、所長の式辞、鈴木正四郎民生児童委員協議会長と保護者代表（代理）から祝辞が行われ、最後に「チューリップ」の歌を全員で合唱し、閉式となりました。

今年度の保育所の園児数は、全部で58名（新入所児19名・在籍児39名）となります。



式の様子

トラックの運転席は高いよ

石井小学校で交通安全教室

新学期が始まり、各学校では交通安全教室を開き、子どもたちの安全と事故防止の徹底を図りました。



運転席からは見えないんだ？

このうち石井小学校では、4月8日に棚倉警察署真鍋幸規交通係長と和田昌造町交通指導員が講師となり、藤田観光バスの協力を得て、バス・トラックを利用した交通安全教室を開催しました。

初めに、6年生代表の熊田夏希さんに棚倉警察署長から「家庭の交通安全推進員」委嘱状が交付され、熊田さんが誓いの言葉を述べました。

その後、校庭に大型トラックを止め、児童を運転席に座らせ、見える範囲を確認させながら、トラック周囲がいかに危険かを教えました。



高い。前が見えないよ。

また、安全な歩行のしかたや横断歩道の渡り方など、普段は気づかない危険な行動や注意点などの実地訓練を行いました。



挨拶する古張会長



記念植樹する関係者

矢祭町観光協会で総会

4月14日、矢祭町観光協会(古張允会長)総会が、矢祭町総合案内施設近くの元ゴルフ練習場広場で開催され、多数の会員が出席しました。

総会は、会長の町長が「多くの観光地が原発事故による風評被害に合い、観光客が減少している。この自粛ムードを変え、経済活力を高める方向に持っていかなければならない。」と挨拶し、来賓の富永盛彦議長、鈴木聡一矢祭駐在所長から祝辞が行われました。

議事では、今年度の事業計画や予算等について審議され、原案どおり決定しました。矢祭町には、奥久慈県立自然公園「矢祭山」東北最南端の秘境「滝川渓谷」福島県天然記念物「戸津辺の桜」など、多くの観光資源を有しており、これらを活かした着地型観光を展開していくことが確認されました。

着地型観光を展開

自然愛護の精神を育む 矢祭山みどりの少年団結団式



結団宣言する松本圭悟団長

4月15日、内川小学校(渡邊健順校長)全児童で組織する矢祭山みどりの少年団結団式が、矢祭山公園内の記念碑前広場で開催されました。

式は、育成会長である町長から「伝統あるみどりの少年団として誇りを持って活動してください。」と、永年の活動を称える挨拶をし、また来賓代表の県南農林事務所森林林業部武田信敏副部長から励ましの言葉が贈られました。

6年生の松本圭悟団長から、結団宣言と「私たちは、緑に親しみ、緑を愛します。私たちは、緑の少年団としての自覚と誇りを新たにし、友情を深めます。私たちは、緑を守り、緑を育て、美しい郷土を作ることにも努めます」と誓いのことばを述べると、一斉に全団員が復唱し、これから1年間の活動に気持ちを新たにしました。

矢祭山みどりの少年団は、昭和49年10月に結成以来、37年の年月を積み重ね、自然愛護の精神や自分たちの住む町の環境についての理解を深めています。



参加者全員で記念撮影

戸津辺の桜

福島県天然記念物「戸津辺の桜」は4月8日に開花し、日増しに花の数が増え、14日には満開となりました。今年も天候にも恵まれ、気温も低めに推移したためか花が長持ちし、訪れる見学者の目を楽しませてくれました。

東日本大震災や福島原発事故の風評被害で見学者は例年よりも少なくなりましたが、それでも連日、県内外の車が駐車場を埋め、多くの人たちが桜に見入っていました。ただ今年も、残念なことに、木の上部の花芽がウンヤツグミなどの野鳥に食べられてしまい、花がない状態になったことです。

戸津辺の桜を守る会では、今年も守る会の法被を新調したり、記帳場を設けたりと、見学者への対応に工夫を凝らしました。記帳簿には500人超の方々が記帳され、その中には浜通り地方からの見学者もおり、被災者へのひとときの和みの場にもなっていました。

今年も多くの見学者



満開となった桜



見学者との交流

- 記帳簿に書かれた「ひとこと」から一部抜粋
- ・とてもきれいです。永く保存してください。
 - ・歴史を感じます。
 - ・見事な樹形の桜です。枝がすごい。
 - ・また来年も来ます。
 - ・素晴らしいです。
 - ・手入れが行き届いています。
 - ・毎年、写真でお世話になっております。

春の風物行事 久慈川への稚鮎放流



元気に育つようにと願いを込めて

矢祭山みどりの少年団結団式を終えた後、矢祭橋下の河川敷に移動し、関岡小学校3・4年生児童7名が加わり、町長ほか多数の来賓が参加し稚鮎の放流を実施しました。

子どもたちは、漁協役員から稚鮎の入ったバケツを受け取ると、「大きく元気に育つように」との願いを込めながら、飛び跳ねる元気な稚鮎を放流しました。詰めかけた報道陣からは、一斉にカメラが向けられ、東日本大震災や福島第一原発事故など暗いニュースが続く中、明るい春の話題として県内外に報道されました。

ただ、「今年も原発事故による風評被害で、釣り客が来ないのではないかと」と、佐川泉久慈川第一漁協組合長の心配する声も聞かれました。一日でも早く原発事故が収まることを願うばかりです。

なお、この日の放流量は200kg(約20,000匹)で、6月5日の鮎釣り解禁日までに総量1,450kgの放流が計画されています。

新学期がスタート! 平成23年度小中学校入学式

4月6日、町内の小中学校で入学式が挙行政され、新1年生それぞれが新たな学業の第一歩を踏み出しました。入学したのは、東館小学校47名(男28名・女19名)、下関河内小学校6名(男4名・女2名)、関岡小学校5名(男5名)、内川小学校3名(男3名)、石井小学校10名(男4名・女6名)、矢祭中学校53名(男29名・女24名)となっています。

肅々と挙行政された矢祭中学校入学式

このうち矢祭中学校(箭内三紀夫校長)の入学式は、体育館で行われ、在校生、保護者、来賓、教職員が拍手で迎える中、緊張しながらも新入生がしっかりと足取りで入場しました。そして、担任教諭から一人ひとり呼名されると、大きな声で返事をし起立。全員の呼名が終わると、箭内校長から入学が許可されました。

校長式辞では、東日本大震災で被災された方々への哀悼の意が述べ、「皆さんには、結いの精神を大切にして、これからの中学校生活を過ごし、温かい学校を築いてほしい。そして困難を乗り越え、夢と希望を失うことなく、強い意志と覚悟を持ってその実現に努力し、立派な中学生に育ってください。」と期待を寄せました。会場となった体育館には、入学式に相応しい厳粛な雰囲気が漂い、見守る保護者の表情にも安心感が浮かんでいました。



1年生代表誓いのことば(寺島愛華さん)



肅々と行われた入学式



式辞をしっかりと聞く入学生

各小学校でも入学式



東館小学校



下関河内小学校



内川小学校



関岡小学校



石井小学校

「家読でコミュニケーション」

わが家のイチおし

この一冊

王さまめいたんてい

―矢祭もつたいない図書館所蔵本から―

ミッケ!シリーズ

文 寺村輝夫
絵 和歌山静子
出版社 理論社

作 ウォルター・ウィック
訳 糸井重里
出版社 小学館

この本は、「ぼくは王さま」シリーズの一冊で娘がもつたいない図書館から借りてきた本です。遊ぶのが大好きで勉強のきらいな王さまが、大臣に頭のいいところを見せつけるために自分で事件を起こし、自分で解決しようとするところがおもしろいお話です。その解決するまでのわがままな王さまと大臣のやりとり、王さまのドタバタな感じも楽しんで読んでほしい。

初めて借りてきた娘が、ページをめくった途端に、声を出さず真剣に睨んでいた「かくれんぼ絵本」です。本を開くと、ミニチュアの世界が紙面いっぱい広がり、その緻密さに驚かされます。いろいろな小物が所狭しと置かれている中から、かくれているものを見つけなければなりません。あまりの細かさに、私は眼精疲労と戦いながらチャレンジします。やはり子どもを観察力にはかなわず、大抵は娘が先に「みつけ!」と指差してしまいます。娘と競走しながら、時には一緒に悩みながら、読み進められる楽しい絵本です。



橋本 恵さん
詩菜ちゃん
とお友だち
(東館字牛小路)



矢祭もつたいない図書館利用者
本多 由美子さん
葵ちゃん
(関岡字滝ノ沢)

やまつりの「文化・スポーツ団体」紹介コーナー⑤

若ふじ辰美会

◇代表者 金澤ヤイ 会員数30名
◇昭和42年11月設立
◇団体紹介

民謡の普及と芸術文化の発展、人の和づくり、体力づくり、明るい町づくり、社会福祉への奉仕等をモットーに、昭和42年11月に若ふじ辰美会を設立、早いもので35周年を迎えるに至りました。踊りは道楽と見なされる中、会員にはいつも人に負けないよう仕事に励み、又、踊りに励むよう常日頃言っております。仕事の妨げにならないようお稽古は、夜ばかりです。しかし、時代の流れというか若い人の入会がなく、会員は減るばかりで誠に残念です。生涯の趣味として、これから踊りをやってみませんか。いつでも大歓迎いたします。




戸塚スターズ

◇代表者 藤田博文 会員数15名
◇昭和56年設立
◇団体紹介

戸塚スターズ(元戸塚野球クラブ)は、30年前から活動している野球チームです。数年前までは、大会に出場すれば"常勝戸塚"でしたが、現在は少子化の影響もあり、新入部員もなく"参加することに意義がある"をモットーに頑張っています。



ふるいち あゆむ
古市 歩夢 ちゃん
(5月20日生まれ・宝坂)
最近、活発に動くようになってきた歩夢。日々成長しているね。これからも元気に、やさしさを持って育ててね♡
(パパ&ママより)




あくあく
満1歳
お誕生日おめでとう!!

すどう ゆりな
須藤 優莉菜 ちゃん
(5月8日生まれ・下石井)
毎日、笑顔いっぱい見せてくれてありがとう。これからもすくすく大きく頑張ってね。
(パパ・ママより)



てらしま あすは
寺島 翌華 ちゃん
(5月12日生まれ・山下)
お姉ちゃんに負けたくないらしい、元気で強い子に育ってね。
(父・母より)



くぼや まひろ
窪谷 匡紘 ちゃん
(5月9日生まれ・小田川)
まひろくん、いつも素敵な笑顔をありがとう。素直で明るい子になってね。
(パパ・ママより)



とださやか
戸田紗弥加 ちゃん
(5月22日生まれ・東館)
誕生日おめでとう！これからも元気に育って、かわいい笑顔をいっぱい見せてね。
(父・母より)



Health Check
はつらつ健康
保健だより

「ヒブワクチン・小児肺炎球菌ワクチン」
接種助成事業開始のお知らせ

矢祭町は、4月1日から乳幼児の細菌性髄膜炎の予防ワクチンである「ヒブワクチン（インフルエンザ菌b型）」、「小児肺炎球菌ワクチン」接種費用の一部助成事業を始めました。

なお、「ヒブワクチン・小児肺炎球菌ワクチン」接種は、保護者の意思による任意接種になりますので、接種前に医師の説明を受け、ワクチンの効果や副反応等を十分ご理解のうえ、接種を受けてください。

*平成23年4月1日以前の接種は助成の対象になりません。

- 対象者・・・接種日に以下の要件をすべて満たしている方
 - ・生後2か月から5歳未満（5歳誕生日の前々日まで）の方
 - ・矢祭町に住民登録または外国人登録のある方
- 接種料金及び助成額・・・指定医療機関で接種を受ける際に窓口でお支払いください。
 - ・ヒブワクチン接種1回につき800円（接種料8,852円の内8,052円を町が助成）
 - ・小児肺炎球菌ワクチン接種1回につき1,100円（接種料11,267円の内10,167円を町が助成）
- 接種の受け方・・・指定医療機関に予約のうえ、母子健康手帳を持参し接種を受けてください。
 - ・予診票は医療機関に準備してありますので、必要事項を記入し提出してください。
 - ・母子健康手帳を忘れた場合は、接種できません。
- 接種対象年齢と回数・・・接種回数は、1回目の接種を行なう月齢によって異なります。

接種を開始する年齢	接種回数・間隔	
	ヒブワクチン	小児肺炎球菌ワクチン
生後2か月～7か月未満	4～8週間隔で3回概ね1年後1回「4回接種」	27日以上の間隔で3回60日以上の間隔をおいて1回「4回接種」
生後7か月～1歳未満	4～8週間隔で2回概ね1年後1回「3回接種」	27日以上の間隔で2回60日以上の間隔をおいて1回「3回接種」
1歳～2歳未満	1回のみ接種	60日以上の間隔をおいて2回「2回接種」
2歳～5歳未満		1回のみ接種

- ☆ 東白川郡内の指定医療機関は次のとおりです。
- ◎ 木村医院（矢祭町）・・・TEL46-3528 ◎ おおまちクリニック（棚倉町）・・・TEL33-8018
- ◎ 塙厚生病院（塙町）・・・TEL43-1145 ◎ 大木医院（棚倉町）・・・TEL33-2424
- ★ 上記以外の福島県内の一部の医療機関でも受けられますので、かかりつけの医療機関にお問い合わせください。

【問い合わせ先】山村開発センター（電話46-2097）
町民福祉課（電話46-4573）

短歌

矢祭町短歌会三月詠草

穂やかに晴れたる二月の日曜日家族総出で苺の出荷す
金澤 京子
話会にロールピアノで歌おうと誘わん友の突如逝きたり
佐川 典子
ささらぎの寒き西風に頬被りしっかと結び春菜の追肥す
深谷 絹子
山里に育ちたる吾は山が好き林道行けば心安らう
佐藤ミサ子
凍て土にやっとな芽生えし水仙の今朝ふんわりと雪積もりおり
菊池 知子
豆まきを忘れて子らは恵方巻あちこちむいてかぶりつきたり
藤田 啓子
音読の曾祖父を囲みて聞き入りし近所の人らを叔母は話しぬ
片野 税子
犬の様子伺いながら裸木に雀四・五羽が餌を啄む
藤田 君江
ひたすらに軍事工場に働きしわが青春を老いて偲ばゆ
近藤 さい
朝餉時のテレビが映す氷川の景に寒さを避けてジョギング中止す
近藤 和夫
寒さにも負けずはこべは畦道に遅しく細き根をはりており
星 初枝
踏み外し腰を打ちたる階段にいやでも己が齢知らざる
松本 精次
枯れ草の間より黄金にかがやきて三つ四つ福寿草春を告げている
佐川 文江
鳩一羽庭に来てるとう医者声に患者いっせいに窓辺に寄りぬ
菊池サカ江
砂利道を歩数かぞえつつ散歩する独りの我家まで千と五百歩
高沢 寿雄

園児22名が元気に満了 矢祭町保育所満了式

3月31日に平成22年度矢祭町保育所(富永美智子所長)満了式が行われ、富永所長から園児22名一人ひとりに満了証書が授与されました。

園児たちも少し緊張きみながら、笑顔で証書を受け取ると「ありがとうございます」と大きな声でお礼を言っていました。後ろで見ている保護者の皆さんも、わが子の成長ぶりに目を細めていました。

今回の満了式は、大震災の関係で簡素化した形で行われ、式辞、祝辞は行わず、所長のお祝いの言葉と園児たちが「思い出のうた」を歌い、終了しました。



証書授与～ありがとうございます！



静かに見守る保護者の皆さん

JR水郡線が復旧

3月11日発生した東日本大震災で、運転を見合わせていたJR水郡線の復旧作業が急ピッチで行われ、4月11日から常陸青柳駅から安積水盛駅間の営業運転を再開しました。

不通となつてから1ヶ月の長期間にわたり、通勤通学の足を奪われましたが、やっと解消され、改めて水郡線の必要性を再認識したのではないのでしょうか。

被災地では復旧見通しが全くたつておらず、それを考えるとたいへんありがたいことです。



レールの修復作業

「苗木購入費にと」今年も浄財を寄付

3月30日に棚倉町の石澤壽子さんが役場を訪れ、澤壽子さんが役員を務める「ひさこ」の苗木購入費に役立ててください。」と、3万円の寄付金を手渡しました。今回で7年連続の寄付となり、町長から御礼を述べると、石澤さんは「これぐらいの寄付で申し訳ありません。冥土に行ったら怒られますよ。」と恐縮がっていました。

町では、寄付金で苗木を購入し、矢祭町観光協会館前に石澤さんを招き、矢祭町総合案内施設近くの元ゴルフ練習場広場に、紅しだれ桜2本を記念植樹しました。



町長と懇談する石澤さん

ハーモニーやまつり 避難所を訪問

「避難者を少しでも癒したい」と4月4日にハーモニーやまつり(広瀬喬子会長)が、避難所となっている山村開発センターを訪問し、「あの素晴らしい愛をもう一度」など全6曲の歌を披露しました。避難者が集まった会場ロビーには、美しい歌声とハーモニーが静かに流れ、避難者の心を癒すひとときとなりました。



心を込め歌うメンバー

宝塚・片野宗和さんに 善行賞表彰

先に他界した故片野雅英氏の遺志として、「教育の環境整備に役立ててください。」と100万円の高額寄付をした宝塚字入宝塚の片野宗和さんに、町表彰条例に基づく善行賞表彰が行われました。



片野さん一家

東日本大震災 被災地への募金活動を展開

町内の小中学校で、4月14日から22日にかけて、東日本大震災で被害を受けた被災地の同年代の児童生徒を励まし、また、家族や友だちを失った悲しみ、避難所での不便な暮らしに思いを馳せ、少しでもその人たちの力になろうとする心情や態度を養うことを目的に、募金活動を実施しました。

子どもたちは自分のお遣いを自主的に募金し、授業参観日には、児童会や生徒会が中

心となつて、参観に訪れた保護者に募金を呼びかけました。募金箱には次々にお金が入られ、「ありがとうございます」の元気な声が校舎内に響いていました。集まった募金は、日本赤十字社に「東日本大震災義援金」として委託されました。

今回の募金活動は、奉仕の心と共助心がしっかりと育まれ、子どもたちには貴重な体験活動となりました。



東館小学校での様子



矢祭中学校での様子

ユアィホームの 大森秀男さん満百歳に 福島県知事賀寿を贈呈

明治44年生まれで、4月22日満百歳を迎えたユアィホームに入居している大森秀男さんに、県知事賀寿が贈呈されました。

贈呈式は、家族・町関係者・富永議長・佐川糸雄町高齢者クラブ連合会長・ユアィホーム入所者らが大勢出席した中、知事賀寿と記念品町からの賀寿と記念のメダルが鈴木俊二副町長から贈呈されました。

町内各地で芽払い作業

4月上旬から中旬にかけての日曜日、町内各地の用水組合で芽払い作業が行われ、春の農作業が本格的にスタートしました。

芽払いには、受益農家から1戸1名が繰り出し、用水掘りの土砂払いや枯れ草の除去、ゴミ収集などの作業を行い、稲作に向けての準備を整えました。



豊作を願いながらの作業



知事賀寿を受ける秀男さん

行事 & お知らせ

情報局

個人住宅の改良工事をする皆さんへ

町では、平成23年度から町内の施工業者により、個人住宅の改良を行う方に対し、その費用の一部を補助します。

◆対象 修繕、増築、改造、模様替えなどの工事のうち、工事代金が50万円(税込み)以上で、町内の施工業者に発注する工事

◆補助額 工事代金の10%(上限は10万円)

◆申込方法 工事着手前に、申請書に必要書類を添えて持参提出してください。

問 事業課事業グループまで
TEL 46-4577

交通事故無料相談のご案内

郡山自動車保険請求相談センターでは、交通事故に遭われた方の相談に専門の相談員が応じています。交通事故の態様も複雑化して、その解決にお困りの方もいるかと思えます。お気軽にご相談ください。

無料相談日
日時 祝日を除く月曜から金曜日
9時～12時 13時～17時
交通事故無料相談(随時)

TEL 024(933)4850
※来訪される方は事前に連絡をしてください。

無料弁護士相談会日程

期日 5月12日(木)、26日(木)
6月9日(木)、23日(木)
7月7日(木)、21日(木)
8月11日(木)、25日(木)
9月8日(木)、22日(木)
※事前には予約が必要ですが、詳しくはお問合せください。
※申込・お問合せ先 郡山自動車保険請求相談センター
TEL 024(933)4850
郡山市駅前2-10-15
住友生命郡山ビル6階

IP告知システム及び地上デジタル放送再配信工事が再開

東日本大震災の影響で中止となっていたIP告知システム及び地上デジタル放送再配信工事が再開されました。既に申し込まれた世帯に対し、現在、工事を進めていますので、宅内工事等の立会をよろしくお願いいたします。

また、新たに平成23年度工事分として、申込受付を開始いたしましたので、希望される方は、平成23年6月3日までに、役場町民福祉課へ申し込みください。申し込み期限を過ぎた場合は、次年度の対応となりますので、ご注意ください。

IP告知端末機など既に設置済の方で、設置場所の変更を希望される場合は、お申し出ください。その際の工事費の一部は、個人負担となります。

申込の確認やご不明な点は、町民福祉課町民グループ(TEL 46-4574)までお問い合わせください。

5月31日です。

自動車税については、平成23年度よりコンビニエンスストアでも納めることができるようになっております。夜間・休日を問わず、全ての時間帯において納めることが可能です。

なお、これまでどおり銀行などの金融機関や郵便局からの納付もできます。
「便利になった自動車税の納税」は、必ず5月31日までに納めましょう。

問 県南地方振興局県税課課税課
TEL 0248(23)1519

つつが虫病に注意を

春は山林や原野、農耕地に入る機会が多くなり、例年つつが虫病が発生しています。山菜狩りや農作業で山林や農耕地に入る場合は、必ずゴム長靴、ゴム手袋、長袖、長ズボンを着用し、素肌の露出を避けてください。

また、むやみに地面や草地に腰を下ろしたり寝転んだりしないでください。帰宅後は、必ず入浴し着替えをしてください。

問 県南保健所医療薬事課感染症予防チーム
TEL 0248(22)6405

国家公務員採用Ⅲ種(税務)試験のお知らせ

仙 台国税局では、バイタリティーあふれる税務職員(高校卒業程度)を募集しています。国の財政を支える税務職員に、あなたもチャレンジしてみませんか。

◆受験資格
平成22年4月2日から平成26年4月1日生まれの方

◆受験申込受付期間
平成23年6月21日(火)から6月28日(火)まで

◆受験申込書の請求
最寄りの税務署、仙台国税局人事第二課又は人事院東北事務局
※受験申込書の配布は、5月9日から行います。

◆お問合せ先
人事院東北事務局
TEL 022(221)2022
又は、仙台国税局人事第二課
TEL 022(263)111内線3236

耐震診断を希望される方を募集します

町では、地震の被害を最小限に抑えるべく平成21年1月に「矢祭町耐震改修促進計画」を策定しました。

これにより、次の4条件に適合する木造住宅所有者で、耐震診断を希望される方を募集いたします。

1. 所有者が自ら居住する住宅
2. 昭和56年5月31日以前に建築された一戸建て住宅
3. 在来軸組工法等による木造3階建て以下の住宅
4. 過去にこの補助による耐震診断を受けていない住宅

事業課事業グループまで
TEL 46-4577

グラウンドゴルフ教室のお知らせ

「いつでも、どこでも、だれもが親しめるスポーツ」として、定着し

ているグラウンドゴルフの体験教室を開催します。参加費は無料ですので、運動の出来る服装でお気軽に参加してください。

◆日時 5月から11月までの毎月第4火曜日 午前9時～12時

◆場所 町営運動場

◆対象 町内在住者、在勤者

◆用具 町より借用

問 矢祭町中央公民館

TEL(46)2202
又は矢祭町グラウンドゴルフ協会事務局
TEL(46)3577



消防の仕事

住宅用火災警報器設置義務までもう少し

既存住宅は平成23年5月31日までに設置しなければなりません。住宅用火災警報器を設置しなくても罰則はありませんが、皆様の大切な「命」や「財産」を守るものです。火災の発生をいち早く知らせ、命を救うために重要なものです。まだ設置されていない住宅は早期設置を! 悪質な訪問販売にご注意を! 消防署では、住宅用火災警報器の訪問販売を行うことはありません。粗悪品や悪質な訪問販売には、十分ご注意ください。

◆矢祭町内の件数
・火災件数 0件
・救急出動 70件
(平成23年1月1日～4月15日現在)
今もむかしも火の用心
あなたを守る
問 棚倉消防署矢祭分署
TEL(46)2119

人の動き

5月1日現在の住民基本台帳より()内は前月比

人口	6,544人	(-5)
男	3,180人	(-1)
女	3,364人	(-4)
世帯	2,098戸	(+1)

●4月中の動き

	男	女	計
◇転入	13人	6人	19人
◇転出	10人	10人	20人
◇出生	0人	1人	1人
◇死亡	4人	1人	5人

矢祭町役場電話番号表(0247) FAX 46-3155

課・グループ名	電話番号
自立総務課	
総務グループ	TEL 46-3131
企画財政グループ	TEL 46-4579
税務グループ	TEL 46-4572
町民福祉課	
健康グループ	TEL 46-4573
福祉グループ(介護保険)	TEL 46-4581
生活環境グループ	
町民グループ	TEL 46-4574
事業課	
事業グループ	TEL 46-4577
産業グループ(観光担当)	TEL 46-4576
F A X	TEL 46-3025
議会事務局	TEL 46-4578
出納室	TEL 46-4571
山村開発センター	TEL 46-2097
中央公民館	TEL 46-2202
教育課	
学校教育グループ	TEL 46-4580
生涯学習グループ	TEL 46-2202 FAX兼用
F A X	TEL 46-3400

御用のある方は、各課の直通電話をご利用下さい

今月の納税

●固定資産税 1期

※口座振替日・納期限 5月31日(火)



議会だより

第1回定例会 3月8日~11日

29議案のうち18議案可決

3月定例会は、3月8日から11日までの4日間の会期で開催され、初日は町長から提案理由の説明が行われ、続いて担当課長からの全議案の内容の説明があり、2日目は議案調査のため休会、3日目は、一般質問で、議員6名が登壇し、町政に対して質問が行われました。4日目の最終日は、専決処分報告1件、「矢祭町情報通信施設の設置及び管理に関する条例」の制定等8件、その他2件、平成22年度各会計補正予算8件、平成23年度各会計予算9件、人事案件1件が提案されました。議案第18号審議中、突然午後2時46分に東北地方太平洋沖地震(マグニチュード9.0)が発生したため、審議ストップとなり、29議案のうち専決処分報告1件、17議案の合計18議案は原案のとおり可決されました。

町長施政方針(要旨)

平成23年度の基本方針は、第4次総合計画のスタートの年であるため、町づくりの基本であります「住んでみたい、住み続けたい、やまづり町」のために邁進し、町域の均衡ある発展と子どもからお年寄りまでの町民福祉の向上につながる予算編成であります。



23年度の重点事業ですが、幼稚園入園料、授業料、幼稚園・小・中学校給食費の負担軽減や幼稚園・小・中学校通学助成の拡大、昼間保護者のいない家庭のため、石井幼稚園の特別保育、石井小学校の放課後児童健全育成事業、中学校を対象とした英語・数学のコース別授業の実施、指導力向上のための教育委員会事務局に指導主事を配置します。また、子育て支援の最大の懸案であります幼保一体化の子どもセンター建設に向けた設計にも着手します。子育て支援以外では、町内

建築業者の仕事を確認する個人住宅改良支援事業や有害鳥獣対策専門員育成事業、21年3月に閉鎖した第1工場団地の跡地に新たな企業誘致による雇用の創出、元気な高齢者のための生きがいサロン事業、生活安寧のため下石井字反川原、中石井字舟見地内に防火水槽の設置、消防団第2班(山野井)、第7班(大垣)、第15班(中石井)に小型動力ポンプ積載車の更新、石綿管からV.P管に布設替えをする東館地区基幹改良事業、町道若宮・前ヶ作線と町道小田川・矢祭中央団地線の整備、トイレ水洗浄等の南石井団地整備事業、橋梁の長寿命化を図るための修繕計

子育て支援を重視 とした予算編成

一般会計の予算総額は、29億5,500万円となり前年度当初予算26億3,000万円と比較して3億2,500万円の増で前年対比12.4%の増となりました。

新規事業としては、保育料の軽減、幼稚園入園料・授業料の軽減、幼稚園・小・中学校給食費の軽減や遠距離通園費助成、矢祭町子どもセンター建設事業、指導主事配置事業、高齢者の生きがいサロン事業、町道改良工事、町道維持工事、長寿命化修繕計画橋梁計画策

定事業、個人住宅改良支援事業、南石井団地整備事業などが主なものです。

主な歳出予算

- 結婚祝い金支給事業 350万円
- すこやか赤ちゃん誕生祝い金事業 1,750万円
- 遠距離幼稚園児・児童・生徒通学費助成金 1,209万3千円
- 幼稚園入園料・授業料助成 1,247万7千円
- 幼稚園、小・中学校給食費の減免 1,576万8千円
- 子どもセンター建設事業(幼保一体化施設設計委託) 1,808万円
- 小学校建設事業(大規模改造工事設計委託) 1,200万円
- 教育指導主事配置事業 716万5千円
- 市町村生活交通対策事業運行費補助金 1,200万円
- 子ども手当支給事業 13,551万8千円
- 予防接種事業(子宮頸がん等) 2,142万3千円
- 子ども医療助成事業

- 1,578万2千円
- 浄化槽設置整備事業(合併浄化槽・31基) 1,241万6千円
- 消防施設整備事業(防火水槽2基、小型動力ポンプ積載車購入等) 3,658万円
- 不法投棄防止パトロール・投棄物除去事業等 1,333万7千円
- 有害狩猟鳥獣対策専門員育成事業 413万1千円
- 橋梁長寿命化修繕計画策定事業 629万1千円
- 町道改良工事(2路線) 9,138万4千円
- 町道維持工事(3路線) 1,160万円
- 個人住宅改良支援事業 100万円
- 公営住宅管理事業 3,060万1千円

合を組織する団体数の減少及び規約の変更(専決第1号)

福島県市町村総合事務組合から福島地方広域行政事務組合を脱退させることと市町村合併により市及び町村の構成が変わったことに伴い、現状に沿う内容にするため、同事務組合規約の関係規定を改めるものです。

◎専決処分報告(議案第1号)

緊急を要するため、地方自治法第179条第1項の規定に基づき、専決処分をしたので、同条第3項により報告し承認を求めます。

◎矢祭町多目的集会所施設設置条例の一部を改正する条例(専決第2号)

大垣地区多目的集会所施設の新築完成に伴い一部改正をするものです。

報告

◎専決処分報告(報告第1号)

地方自治法第180条第1項の規定に基づき、専決をしたので、同条第2項の規定により、報告するものです。

◎福島県市町村総合事務組

条例

◎矢祭町情報通信施設の設置及び管理に関する条例の制定(議案第2号)

光ファイバーネットワーク整備に伴い、IP電話通信及びテレビ放送再送信設備の設置及び管理に関する

条例を制定するものです。

◎矢祭町教育委員会事務局の指導主事の給与に関する条例の制定(議案第3号)

平成23年度より教育委員会事務局に配置し、本町の教員に対し指導力向上のための指導を行う指導主事の給与に関する条例を制定するものです。

◎矢祭町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例(議案第4号)

育児休業法の一部改正に伴い、所要の改正を行うものです。

◎矢祭町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例(議案第5号)

福島県において通勤手当改正及び県給与条例の文言整理が行われたため、本条例においても一部改正を行うものです。

◎矢祭町営住宅条例の一部を改正する条例(議案第6号)

町営住宅中石井団地1号棟1戸の解体除去等に伴い削除するため、改正を行うものです。

◎矢祭町道路路占用料徴収条例の一部を改正する条例(議案第7号)

その他

◎矢祭町過疎地域自立促進計画の一部変更(議案第9号)

第4次総合計画で計上した事業で過疎債充当予定の幼保一体化を実現するための子どもセンター建設、消防施設、中学校校舎整備事業等の追加、町道山崎・頭屋線の改良延長の変更と小学校複式学級校への講師配置事業等の名称変更等をするために過疎地域自立促進特別措置法第6条の規定により議会の議決を求めるものです。

◎白河地方広域市町村圏整

画の策定等であります。県営事業では、国道34号下関工区・小田川2地区、広域農道東白川2期地区、農免農道中石井2期地区の事業促進、県道石井・大子線、県道下関河内小生瀬線が早期に事業採択されるよう県当局へ引き続き要望して、今後とも町民の目線に立ち郷土矢祭町発展のために全力を上げて町政運営を進めてまいります。

備組規約の変更（議案第10号）

市町村合併の進展に伴い、広域行政圏内の市町村数が著しく減少した圏域や広域行政機構を有しない圏域が広がるなどしたため、国において広域行政圏計画策定要綱が廃止されたことに伴い、白河地方広域市町村圏計画の策定業務を廃止することと市町村職員研修事業についても現在、財団法人ふくしま自治研修センターにおいて受講しているのが現状であるため、当組合の研修事業についても廃止するものです。

◎平成22年度矢祭町一般会計補正予算（議案第11号）

国のきめこまかな及び住民生活に光をそそぐ交付金事業によりユーパル矢祭のリニューアル工事、スインピア矢祭の修繕工事、友情の森バンガロー改築工事、学校図書室整備事業、介護予防運動等対策事業等の明許繰越事業の追加補正と年度末での歳入確定見込み、各種事業の確定と財政調整基金積立が補正の主な内容です。

補正予算

◎平成22年度矢祭町国民健康保険特別会計補正予算（議案第12号）

歳入における国県支出金の変更申請及び県支出金、共同事業交付金等の確定による補正です。

◎平成22年度矢祭町水道事業特別会計補正予算（議案第13号）

水道施設修繕用資材及び機械借上げ、簡易水道施設

平成22年度各会計別予算補正状況(3月定例会・臨時会) (単位：千円)

会計名	既定額	補正額	予算総額
一般会計	3,225,173	152,155	3,377,328
特別会計			
国民健康保険	831,802	△54,432	777,370
水道事業	143,105	240	143,345
老人保健	2,091	△563	1,528
宅地造成事業	9,038	△4,000	5,038
介護保険	506,137	12,935	519,072
後期高齢者医療保険	120,684	399	121,083
霊園事業	2,892	1,025	3,917

変更認可申請書作成委託事業の確定等による補正です。

◎平成22年度矢祭町老人健康特別会計補正予算（議案第14号）

支払基金交付金、国県支出金及び医療諸費、諸支出金等の整理による補正です。

◎平成22年度矢祭町宅地造成事業特別会計補正予算（議案第15号）

土地売却収入の減、歳出の確定による補正です。

◎平成22年度矢祭町介護保険特別会計補正予算（議案第16号）

介護保険料及び国県支出金・支払基金交付金・保険給付費の確定に伴う整理が補正の内容です。

◎平成22年度矢祭町後期高齢者医療保険特別会計補正予算（議案第17号）

保険料収入額及び後期高齢者医療広域連合納付金の確定が補正の主な内容です。

3月11日午後2時46分議会開議中、東北地方太平洋沖地震（マグニチュード9.0、本町は震度5強）が発生したため、会議不継続になり閉議時間となりました。

23年度当初予算等 12議案を可決

第2回臨時議会

第2回臨時議会は、3月15日午前10時招集され、平成22年度特別会計補正予算1件、平成23年度各会計予算9件、人事案件1件が提案されました。また、議員提出案件では意見書1件を追加提案し、合計12議案が原案どおり可決・同意されました。

会計総額 44億7,294万9千円

補正予算

◎平成22年度矢祭町霊園事業特別会計補正予算（議案第29号）

当初予算

◎平成23年度矢祭町一般会計予算（議案第30号）
◎平成23年度矢祭町国民健康保険特別会計予算（議案第31号）
◎平成23年度矢祭町水道事業特別会計予算（議案第32号）
◎平成23年度工場団地造成事業特別会計予算（議案第33号）
◎平成23年度宅地造成事業特別会計予算（議案第34号）

平成23年度各会計別予算状況 (単位：千円)

会計名	23年度予算額	22年度予算額	伸び率
一般会計	2,955,000	2,630,000	12.36%
特別会計			
国民健康保険	733,470	778,071	△5.73%
水道事業	129,004	117,000	10.26%
老人保健	0	1,176	△100%
工場団地造成事業	8,199	10,400	△21.16%
宅地造成事業	8,832	8,500	3.91%
農業集落排水処理事業	28,100	29,500	△4.75%
介護保険	482,844	445,151	8.47%
後期高齢者医療保険	125,900	115,170	9.32%
霊園事業	1,600	2,850	△43.86%
合計	4,472,949	4,137,818	8.10%

鈴木正美氏が議員辞職



鈴木正美議員から、3月24日付で一身上の都合による議員辞職届が議長に提出され、同日付で可決いたしました。

第3回臨時議会

一般会計 1億6,676万9千円可決
予算総額 34億8,409万7千円

平成23年第3回臨時議会は、3月30日（水）午前10時に招集され、専決処分報告1件、条例2件、平成22年度各会計補正予算8件の合計11議案が提案され原案どおり可決されました。

補正予算

◎平成22年度矢祭町一般会計補正予算第8号（議案第43号）

特別交付税、町債等歳入及び各種事業の確定等による補正です。

◎平成22年度矢祭町国民健康保険特別会計補正予算第6号（議案第44号）

歳入の国民健康保険税、県支出金の確定見込み等による補正です。

◎平成22年度矢祭町水道事業特別会計補正予算第5号

人事案件

◎教育委員会委員の任命（議案第39号）



鈴木幹男 氏

教育委員に

鈴木幹男 氏

東館字山野井68番地1 選任することに同意されました。

請願・陳情

請願

提出された請願は所管の常任委員会に付託され、本

陳情

◎滝川開発期成同盟会代表石井一男ほか役員より次の陳情がありました。

◎山下地内墓の沢小田川流入口土砂払外？ 高山区

◎鴉ノ巣地内の小田川の堆砂除去外1 下関河内区

◎国道349号滝平地内の排水路樹嵩上げ外？ 大坂区

◎別名に化けた外国人参政権への警戒を求める陳情

福島市 星野節子

号（議案第45号）

歳入及び配水管布設替え工事の確定、東北地方太平洋沖地震による水道復旧経費等の補正です。

◎平成22年度矢祭町工場団地造成事業特別会計補正予算第2号（議案第46号）

年度末における歳入歳出の確定による補正です。

◎平成22年度矢祭町宅地造成事業特別会計補正予算第3号（議案第47号）

年度末における歳入歳出の確定による補正です。

平成22年度各会計別予算補正状況(3月臨時会) (単位：千円)

会計名	既定額	補正額	予算総額
一般会計	3,377,328	106,769	3,484,097
特別会計			
国民健康保険	777,370	2,894	780,264
水道事業	143,345	△1,292	142,053
工場団地造成事業	10,453	△3	10,450
宅地造成事業	5,038	—	5,038
農業集落排水処理事業	31,371	△244	31,127
介護保険	519,072	△2,916	516,156
後期高齢者医療保険	121,083	△383	120,700

一般質問(要旨)

○平成22年度矢祭町農業集落排水処理事業特別会計補正予算第2号(議案第48号)

新規加入者及び施設使用料の確定に伴う補正です。

○平成22年度矢祭町介護保険特別会計補正予算第6号(議案第49号)

介護保険料及び県支出金の確定による補正です。

○平成22年度矢祭町後期高齢者医療保険特別会計補正予算第4号(議案第50号)

保険料の歳入及び後期高齢者医療広域連合納付金等歳出の確定による補正です。

報告

○専決処分報告(議案第40号)

緊急を要するため地方自治法第179条第1項の規定に基づく承認を求めたものです。

◎専決第3号 平成22年度矢祭町一般会計補正予算第7号

3月11日発生しました東北地方太平洋沖地震による災害救助費及び災害復旧費の補正です。

ビス、地上波デジタル放送難視聴対策、光ブロードバンドサービスが開始されます。工事の進捗状況、各サービスの加入状況を伺う。

答弁(町長)

昨年、着工して工期が今月30日です。九十数%まで工事は進捗しております。加入状況ですが、IP告知システムが1,789台、デジタル放送の再送信施設が180台の加入状況です。今後、100%加入に向けて督促をします。

再質問

地上デジタル放送は、今年7月より開始されます。山間地域での対策は万全なのか伺う。

答弁(町長)

当初は、芝、下石井入山、高野谷地の3地区が難視聴地域、その後、追分、馬渡戸、茗荷・倉影、下石井頭屋の4地区が追加、個別には黒助、館谷、高室、矢沢、金沢、南沢、上野内、恩岩、小坂、滝ノ沢、天神沢が難視聴地域にあり、最初11戸でありましたが、現在180戸がデジタル送信施設で放送が見られる地域であります。

3月定例会の一般質問は、10日午前10時から行われ6議員より22項目の通告があり町政全般について質問して執行部の考えを質しました。また、傍聴者12人が訪れていただきました。

6人が登壇(通告順)

- 1、金澤重光議員
 - (1)住宅支援事業について
 - (2)子育て支援における延長保育・児童クラブについて
 - (3)矢祭町地域情報通信基盤整備事業について
- 2、緑川進議員
 - (1)平成22年度の税収の見通しと23年度の当初予算の税収について
 - (2)地上デジタルテレビと住宅用火災報知器の設置について
- 3、坏豊明議員
 - (1)第3次総合計画の検証と第4次総合計画について
 - (2)第4次総合計画の実施計画について
 - (3)J-ALERT小型受信機(専用)について
 - (4)国保広域化の動向について
 - (5)特別職の退職金制度について

- 4、鈴木敏男議員
 - (1)朝・昼・夕方のサイレン吹鳴の見直し及び消防施設の危機管理について
 - (2)町民の奉仕者が民間より高い国家公務員とほぼ同じ給与、当町における官民格差の是正について
 - (3)役場職員の採用について
 - (4)23年度の重点事業について
 - (5)町長選挙について
- 5、鈴木正美議員
 - (1)ユール矢祭の経営について
 - (2)スインピア矢祭について
 - (3)TPP参加への対応について
 - (4)高齢者福祉の今後について
- 6、鈴木一議員
 - (1)太陽光発電の住宅設置普及と補助について
 - (2)地方税(ご当地ナンバープレート)について
 - (3)河川整備(普通河川・矢沢川)について



金澤重光議員

住宅支援事業等について伺う。

年次計画で新規住宅の建設を予定。

質問

矢祭町第四次総合計画で、子育て世代の住宅支援事業、個人住宅改良支援事業が新規主要事業として計画されており、事業内容について伺う。

答弁(町長)

子育て支援住宅事業は、子育て環境のいいような場所を選定して、住宅を建築する予定で総合計画に盛り込んであります。場所は、町営住宅の空き地、ニュータウンの未分譲地等を視野に入れて24年度から年次計画を進めてまいります。

個人住宅改良支援事業は、室内、屋外の住宅改修工事などで、補助対象は50万円以上の工事に10%の補助金を交付する予定で限度額は10万円です。

子育て支援における延長保育・児童クラブの状況は

随時受付窓口を開設し募集する。

質問

幼稚園の延長保育、特別保育、さらには小学校における放課後児童クラブを4月よりスタートしますが、現在の状況を伺う。

答弁(教育課長)

特別保育の申し込み者は、現在のところ1名です。一時預かりも1名の申し込みです。放課後児童クラブは、昨年のアンケートをとったときには、9名の希望者がおりましたが、募集をしたところ、申し込み者がいない状況です。

答弁(教育長)

家庭の状況などもあると思います。随時受付窓口は開設していきます。

情報通信基盤整備事業の進捗・加入状況を伺う。

90%の工事は進捗、100%加入に向けて督促する。

質問

町内全域に光ファイバー網を整備し、IP告知サ

携帯電話不感地帯の解消について伺う。

25年度には、ほぼ町内はカバーできる予定です。

質問

現在、集落において携帯電話不感地帯があり、地域の方々が電話会社に強く解消をお願いしてもよい返事がもらえない。町が強く電話会社に働きかけをしていただけるのか伺う。

答弁(町長)

高野谷地・追分・馬渡戸は23年、茗荷は24年、関岡・芝は25年度にドコモが施行する予定であり、ドコモとauで町内ほぼカバーできるようにです。



緑川進議員

質問

平成22年度の税収の見通しと23年度の当初予算の税収について伺う。

答

22年度の税収見込みは前年同額ぐらい確保できる。景気低迷が続いております。

23年度の当初予算の税収について伺う。

当初予算は、21年度と同額を予定。財源の心配はない。

質問

各市町村の23年度予算編成状況が伝えられております。21年度に比べて減収のところがありますが、本町はどうなのか。減収ならば、何で賄うのか伺う。

答弁(町長)

当初予算でありますか、21年度と同額を予定しております。減収になれば減収補てん債の発行、基準財政収入額が減りますと交付税等の措置がありますので、財源は心配ないと感じております。

難視聴世帯・区域の現状と見直しを伺う。

光ケーブルで解消したい。

質問

地上デジタルによってテレビが映らない地域が発生することを解決するため光ファイバーを利用することになっているが、完全にカバーできるのか。難視聴世帯、難視聴区域が

子育て支援における延長保育・児童クラブの状況は

随時受付窓口を開設し募集する。

質問

幼稚園の延長保育、特別保育、さらには小学校における放課後児童クラブを4月よりスタートしますが、現在の状況を伺う。

答弁(教育課長)

特別保育の申し込み者は、現在のところ1名です。一時預かりも1名の申し込みです。放課後児童クラブは、昨年のアンケートをとったときには、9名の希望者がおりましたが、募集をしたところ、申し込み者がいない状況です。

答弁(教育長)

家庭の状況などもあると思います。随時受付窓口は開設していきます。

情報通信基盤整備事業の進捗・加入状況を伺う。

90%の工事は進捗、100%加入に向けて督促する。

質問

町内全域に光ファイバー網を整備し、IP告知サ

たが、現状と見直しについて伺う。

3番金澤重光議員に回答したとおりですが、7月24日でのアナログ放送が終了いたしますので、23年度には新たに光ケーブルを通して難視聴地域の解消をしてまいります。

答弁(町長)

住宅用火災警報器の設置義務化は6月1日からとなっております。本町は消防団、婦人消防隊、矢祭分署のご協力により設置率が75・6%です。管内第1位となっております。報道がありました。残された未設置に対して、官民一体となって努力してほしいと思うが考えを伺う。

答

75・6%の設置率、残りは広報等で普及活動に努める。

質問

町消防団、婦人消防隊、消防矢祭分署等のご協力です。全戸漏れなく啓蒙し販売をしまして、75・6%という非常に高い設置率が達成されました。残りの20%も、一生懸命広報等を通じま

て、普及活動をしてまいります。



豊明議員

問 第三次総合計画の検証と第四次総合計画について町の人口を問う。

現状維持で方策を検討していく。

質問

今回は町の人口について絞って質問をいたします。現在はご承知のように、人口がわずかに6,000人をちょっと超えている。50年前と比べますと人口は半減しております。人が住んでいなければ、地域の発展はないわけであり。この大事な人口の問題をなぜ第四次計画には全く設定をしないのか、お聞かせ願います。

答弁(町長)

日本は既に人口の減少傾向になっております。現在、人口が増加しておるのは首都圏のみではないかと思っております。福島県も毎年5%以上の人口が減少して

おり、人口の増加というものは難しい、できる限り現状を維持する方向で方策を検討してまいります。

問 第四次総合計画の実施計画について伺う。

中学校のプールは、前倒しで。

答

子どもセンター建設事業が23年、24年度で実施する。中学校の屋外プール事業が25、26年と先送りされています。順番が違うんではないか、子どもセンターは小学校統合と併せて検討すべきではないか。見解を伺う。

答弁(町長)

子どもセンターを建築しても、保育所と幼稚園の機能は別々に維持する予定であります。園庭、職員室は共有できるように考えております。子どもセンター、小学校、中学校の耐震工事、中学校のプール、非常に財政的に支出の多い事業であります。中学校のプールは、財政の許す限り前倒しですめま。

問 全国瞬時警報システムの管理運用は。

接続は検討する。

答

質問

全国瞬時警報システム(Jアラート)は、地方公共団体において配下の様々な機器に容易に接続が可能とありますが、管理体制をどうするのか、伺います。

答弁(町長)

誤報がかなりの頻度で流れて住民の混乱は当然予想されます。すべての情報をIP告知システムに接続して町民に周知するのがベストなのかどうか、今後検討してまいります。

全国瞬時警報システム(Jアラート)とは、国が北朝鮮のミサイル発射等の危機管理情報や地震速報・気象警報・津波警報等の情報を発信し、その情報を全国の自治体が瞬時に受信するシステムです。

問 国保広域化の動向について伺う。

町は現状を続けたい。

答

国民健康保険法改正により、県に「国保広域化等支援方針策定」が盛り込まれました。現在、支援方針を

策定中と聞いております。県からはどのような指導や提言があったのか。国保広域化に対しての見解を伺う。

答弁(町長)

福島県市町村国民健康保険広域化等支援方針が昨年12月に策定され、知事からの通知が来てございます。県が決定すれば、従わざるを得ません。できる限り町民の負担を低く抑えて健康保険運営をしてきておりますので、町としては現状を続けたい思いはございます。県が一本化を決定したときには、やむを得ないと思っております。

問 特別職の退職金制度を廃止すべきでないか。

市町村総合事務組合に加入、支給されている。

答

質問

23年6月から全国同時に地方議員の年金制度が廃止されます。町長などの1期4年ごとの退職金制度が現在あります。退職金制度を廃止するべきではないか、退職金は具体的に幾らなのか伺う。

答弁(自立総務課長)

福島県市町村総合事務組

合に加入して退職金制度が支給され、町長は1,204万9,920円です。

答弁(町長)

地方自治法第204条により、市町村総合事務組合が市町村職員の退職手当に関する条例に基づき運営しているもので、組合の脱退は考えておりません。



鈴木敏男議員

問 サイレン吹鳴はいつ頃から。

朝、昼、夕方の吹鳴の正確な時期はわかりません。

答

質問

各地区の朝、昼、夕方のサイレン吹鳴はいつ頃か、一朝有事の際にだけ活用できる見直し時期に来ているのではないか、お聞きします。

答弁(町長)

消防用のサイレンが設置されたときに、各地区の要望で多分タイマーを取りつけ鳴らしておると思ってお

ります。行政区、消防団との協議をして、廃止することとは何ら問題はないと思っております。

質問

消防施設の危機管理について伺う。

3カ月前に大垣(第7班)のサイレンが小さくて遠くまで聞こえないとご指摘をされました。町長は聞いていない、危機管理はどうなっているのか、伺います。

答弁(町長)

消防団から要請が上がっております。消防施設は、毎年1回、本団役員で査察を行い各班は月2、3回の点検を行っています。

問 官民格差の是正は

県人事委員会が民間給与額の水準と比較調整。

質問

町民の奉仕者が民間より高い国家公務員とほぼ同じ給与、当町における官民格差是正について、地域に合った町独自の給与体系の考えはないのか、お聞きします。

答弁(町長)

私は一貫して給与には手をつけたい、そのかわり少なくなつた人数でしっかり

と事務事業を執行してもらいたいという方針であります。国家公務員は国の人事院、福島県は県の人事院勧告に基づいております。50人規模の会社も含めて平均給与を算出しており、スト権を持たない公務員は、人事院勧告の給与でやっております。

問 町役場職員採用について伺う。

2名が退職、2名を採用予定。

答

23年度採用人数は何名か、いつ決定したのか、伺います。

質問

申し込みは13名で受験者は11名、合格者は3名おりましたが1名辞退して採用予定は2名であります。22年8月31日に発表しております。

答弁(町長)

なぜ統合に考えが変わったのか、伺う。

問

意見の醸成ができたか、判断した。

答

重点事業の一番の問題点は、子どもセンターの建設だと思っております。この少子化の時期に4億7,000

万もかけて、なぜ建設しなければならぬのか。私は、順番が逆ではないかと思うのです。小学校を統合して、跡地利用で考えるものではないかと思うのですが、小学校統合に関しては、7割が賛成、3割が反対、その3割の意見をかたくなに守ってきたんです、町長は、なぜ統合に考えが変わったのか、伺います。

答弁(町長)

内川小学校はかなりの人数が減少いたします。また、東館に住居を移してまで、子供を東館小学校へ入れたという父兄も出てきました。地域の意見の醸成ができたので、統合の方向で検討をされております。その他の地域は、意見の醸成ができていないという判断をしております。私は、絶対に統合しないとは言っておりません。意見の醸成ができた、地域の意見がまとまるところからは統合してまいりたいと言っているはずであります。

問 町長選挙での公開討論の考えを伺う。

考えておりません。

答

質問

前哨戦としては低調だと感じております。公開討論会をやっていたら良かったのですが、考えを伺う。

答弁(町長)

今のところ考えておりません。告示になって時間があれば、ぜひともやりたいと思っております。



鈴木正美議員

問 ユーパル矢祭の指導について伺う。

経営の安定のため指導していく。

答

質問

町が貸し付けを実行しているユーパル矢祭の経営改善状況と今後の指導について、町長のお考えをお尋ねしたい。

答弁(町長)

ユーパルの経営は、着々と改善に向けて進んでおります。職員の削減、給料カットやボーナスの支給停止などにより人件費の削減、施設管理委託料等の5%程度

カット、光熱費の削減などによる経費節減などを実施して出費を抑えております。また、営業エリアを拡大しまして水戸市、栃木県の那珂川町方面へも営業を向け誘客に努めております。町として、しっかりと応援をし、ユーパルの経営の安定のために指導してまいります。

問 スイミア矢祭の今後の管理運営について問う。

復旧させるには、膨大な金かかりできない。

答

年間1,600万の経費を毎年、出し続けるのであれば、温水プールの屋根を国の助成事業に該当させて、町の持ち出しを少なくする中で、温水プールを復活させることは町民の健康増進、町の支出負担を結果的に相殺で減らすという考えも持っているのですが、教育長の見解を伺います。

質問

プール復活させるためにはお金が必要です。国から光をそぐ交付金等が来た折には町長にお願いしております。

答弁(町長)

プール復活させるためにはお金が必要です。国から光をそぐ交付金等が来た折には町長にお願いしております。

答弁(町長)

プール復活させるためにはお金が必要です。国から光をそぐ交付金等が来た折には町長にお願いしております。

高額の補修費がかかりますが、近い将来には、再開したいと思っております。

問 TPP参加への対応について伺う。

答 反対してまいりたい。

質問

環太平洋戦略的経済連携協定、まちの基幹産業である農業に対する打撃は計り知れないだろうと推測をしています。現段階では、全く国民との話し合い不足、議論不足だ。と理解しておりますから、TPPへの参加を反対しております。町長の答弁をお願いします。

答弁(町長)

県町村会、全国町村会等でも反対決議をしております。個別交渉で関税を残せるものは残していただきたい。農業分野、その他の分野でも必要に応じて関税を残して日本の産業、農業等を守っていただきたいと思っております。日本の農山村の崩壊を招かないために私もTPPには反対してまいります。

問 高齢者福祉についての考えは。

答 補助事業を活用し、10人乗りワゴン車を購入予定。

質問

今現在の状況下は高齢者福祉、町はどういう方向に向かっていくのか。特別養護老人ホーム、デイサービスもできた施設は整えてある。高齢者になりますと体が不自由で思うように物事の対処ができない、一番困るのは足がないということ。増加する高齢化の中にあつて、町の高齢者福祉の今後について町長にお尋ねします。

答弁(町長)

本町の高齢者割合は現在32%、これは65歳以上の高齢化の数値でございます。間違いなく高齢化は進行しております。要介護者が病院へ通う、デイサービスに来るときにはデイサービスへの送迎車もあります。社会福祉協議会では病院へ行くたい人は、頼めば10分の1の負担で病院へ行ってもらえる。高齢者が買い物ができない人たちにはヘルパー等が買い物をしてあげる。来年度は、国の補助事業を活用して介護予防運動等送

迎車として10人乗りワゴン車を購入する予定であります。



鈴木 一議員

問 太陽光発電の住宅設置普及と補助について伺う。

答 23年度の個人住宅改良支援事業の中で太陽光発電も該当させたい。

質問

県内7市町村が、平成23年度から太陽光発電システムを住宅に設置する際の助成制度を設ける方針であります。22年度までに34市町村が導入済みであります。さらに、9町村が制度創設を前向きに検討しており、クリーンな発電の普及の動きが加速しております。現段階では補助制度の予定のない自治体は9市町村であり、その中に矢祭町も入っております。町の考えを伺います。

答弁(町長)

県内の市町村の大部分が太陽光発電の1キロワット当たりの補助金2万円から

3万円以上が4キロで8万から12万、10万円を限度として住宅改修制度の中で対応してまいりたい。23年度の状況を見て需要が多いようであれば、24年度には要綱を制定して別枠で補助制度を考えてまいります。

問 ご当地ナンバープレートについて伺う。

答 費用対効果等を考慮しながら検討。

質問

名所や名物をデザインしたご当地ナンバープレートがぞくぞくと誕生しております。平成23年度に登場するナンバーでも、各自治体が工夫を凝らしており、祭りやCMより少ない費用で高いPRの効果があり、地元への愛着も広がり、今後もふえていくと分析されております。考えを伺います。

答弁(町長)

全国1、750市町村のうち約10市町村で使用されており、製作会社には、30ぐらい問い合わせがきているそうです。現在のナンバープレートの作製料は、1枚200円の費用であります。ご当地ナンバープレートになりますと、特注品になります。

ます。型の作製料で120万から150万円ぐらい、プレート1枚の単価が450円かかります。今後、費用対効果等を考慮しながら検討してまいります。

問 普通河川の矢沢川について伺う。

答 昭和42年に砂防指定地で県の管轄、相談しながら進めてまいりたい。

質問

普通河川矢沢川下流の自転車道橋梁から約50m上流に法面が約15m、コンクリートで覆われない箇所があります。なぜコンクリートの堤防になっていないのか。昨年度は、雑木など伐採して頂きましたが草刈しないため、環境に良くない。町の考えを伺います。

答弁(町長)

昭和42年に砂防指定地として告知されております。砂防施設であるため、県の土木事務所に確認をしたところ、当時の書類、図面等もなく、なぜこの区間を整備しなかったのかかわからないという返答であります。焼き払いをしない地域でありますので、今後とも雑木が茂ってきたならば、町で伐採していきます。

◎ 随時監査実施

2月22日 白石勝夫監査委員、坪 豊明監査委員は、平成22年度に町が発注した事業現場を踏査し工事内容、工事進捗状況等について、監査を実施しました。

◎ 監査結果

各事業はいずれも工事の設計に基づき施工されており、工事の進捗状況は1月31日現在のものであるため、実際の進捗状況は、更に進捗した状態にあり施工の内容も概ね良好であると認められました。



教育用パソコン等を監査・石井小学校

〈踏査コース〉

- ・基幹改良事業：配水管布設第1回(石田地内)工事
- ・基幹改良事業：配水管布設第2回(日向内地内)工事
- ・学校情報通信技術環境整備事業(東館・石井小学校)
- ・平成22年度農地災害復旧工事
- ・平成22年度林道小田川手元線舗装工事
- ・平成22年度矢祭ニュータウン線法面ボーリング工事
- ・平成22年度大塚地区多目的集会施設建築工事
- ・平成22年度大塚消防屯所建築工事
- ・平成22年度林道下関河内線舗装工事
- ・平成21年度矢祭中学校大規模改造工事
- ・平成21年度矢祭中学校北校舎屋上防水改修工事
- ・戸津辺のサクラ駐車場整備工事
- ・平成22年度林道舟見高室線(1・2・3工区)路面補修工事
- ・平成22年度町道上茗荷・入山線法面工事
- ・平成22年度町道真木野・茗荷線維持工事
- ・平成21年度新夢想橋塗装工事
- ・平成22年度林道下河原線路面補修工事
- ・平成22年度小田川山下線路面補修工事
- ・関岡小学校プール改修工事
- ・スインピア矢祭・屋外50mプール補修工事
- ・東山ごみ処分場跡地地下水観測井戸設置工事
- ・全国瞬時警報システム接続工事

議会の動き

(主なもの)

★2月	1日	圏域市町村長並びに代表議長会議(白河市)	4日	東白川地方町村議会議長会定例会(棚倉町)	13日	大塚地区多目的集会施設落成式	17日	全員協議会	18日	白河地方3一部事務組合正副議長会(西白河地方衛生処理一部事務組合)	20日	矢祭子ども司書講座閉講式(矢祭もったいない図書館)	21日	例月出納検査	22日	福島県町村議会議長会定期総会	25日	白河地方広域市町村圏整備組合第1回組合議会定例会(白河市)	28日	全員協議会																															
★3月	3日	議会運営委員会	4日	町体育協会総会	7日	百歳高齢者知事賀寿贈呈式(ユーアイホーム)	8日	第1回町議会定例会	9日	若鮎チャレンジサポート事業表彰式(矢祭中学校)	11日	矢祭中学校卒業式	15日	全員協議会	15日	第2回町議会臨時会	18日	幼稚園修了証書授与式	22日	例月出納検査	23日	小学校卒業式	24日	22年度第2回区長会	30日	第3回町議会臨時会	★4月	1日	町職員辞令交付	2日	消防団役員会(ユーアイ)	4日	平成23年度区長会	5日	町保育所入所式	6日	町内小・中学校入学式	8日	幼稚園入園式	14日	る要望(東京都・関係省庁)	15日	矢祭山みどりの少年団結団式(矢祭山公園広場記念碑前)	21日	例月出納検査	22日	百歳高齢者賀寿贈呈式(ユーアイホーム)	25日	平成22事業年度白河地方土地開発公社決算監査(白河市)	28日	全員協議会

みなさんの町政です!!
開かれた議会を目指し公開をしていますので、議会を傍聴してみませんか。
次の定例議会は6月です。

今月のこの1枚

この写真は、福島県屋外広告美術共同組合白河支部で、役場庁舎に東日本大震災復興支援メッセージ横断幕「がんばるぞ！矢祭」を掲載したものです。矢祭町から被災地復興への熱い思いが込められています。



情報カレンダー
5 2011
6 月

[略称] 当…当番医 山開…山村開発センター 塙…塙厚生病院

日	月	火	水	木	金	土
5/8 母の日 世界赤十字デー ◎ おおひら整形外科33-9468	9 ● 4カ月児健診・BCG 受付(13:30~13:40)塙	10 愛鳥週間 運動教室 ● 山開(10:00~11:00)	11 春の全国交通安全運動 ~20日まで ● カンガルーくらぶ	12 看護の日 ● 2歳児歯科健診 山開(受付13:00~13:15) 母親教室 塙(13:30~15:30)	13 ● カンガルーくらぶ	14 ● カンガルーくらぶ
15 シルバー交通安全の日 交通安全話し合いの日 ◎ 塙厚生病院43-1145	16 ● 心の健康相談会 山開(10:00~16:00)	17 ● 運動教室 山開(10:00~11:00) ● 元気づくり教室 館山荘(10:30~13:00)	18 ● 親子ピクス 山開(10:30~11:30)	19 ● 6カ月児11ヶ月健康相談 山開(13:15~13:30) ● 母親教室 塙(13:30~15:30)	20 ● カンガルーくらぶ	21 小満 ● カンガルーくらぶ
22 ◎ 木村医院46-3528	23 踏切事故 防止の日 ◎ 木村医院46-3528	24 ● 運動教室 山開(10:00~11:00)	25 ● カンガルーくらぶ	26 ● 母親教室 塙(13:30~15:30)	27 ● カンガルーくらぶ	28 ● カンガルーくらぶ
29 ◎ あらまちクリニック33-8018	30 ◎ 木村医院46-3528	31 世界禁煙デー ● 元気づくり教室 館山荘(10:30~13:00) ● 運動教室 山開(10:00~11:00)	6/1 電波の日 気象記念日 交通事故ゼロ・歩行者優先の日 ◎ カンガルーくらぶ	2 ● ポリオ生ワクチン投与 山開(受付13:15~13:45)	3 ● カンガルーくらぶ	4 歯の衛生週間 ◎ カンガルーくらぶ
5 世界環境デー ● さわやかサイクリング ◎ 和田医院33-2012	6 芒種 ◎ 和田医院33-2012	7 ● 運動教室 山開(10:00~11:00)	8 ● カンガルーくらぶ	9 ● 1歳6カ月児健診 山開(受付13:00~13:15) ● 母親教室 塙(13:30~15:30)	10 時の記念日 ● カンガルーくらぶ	11 入梅 ◎ カンガルーくらぶ

本誌に掲載の写真は進呈しますので、ご希望の方は自立総務課までご連絡ください。

赤ちゃん誕生おめでとう (敬称略)

赤ちゃんの名前 誕生日 保護者 地区
 金沢 優奈 3/31 真浩 里子 宝坂

おくやみ申し上げます (敬称略)

亡くなられた方 年齢 届出者 没日 地区
 小野 タメ(90) 博 3/29 東館
 高信 ミチ(88) 栄 4/1 東館
 須田 一由(87) 満子 4/2 中石井
 安田 武喜(77) タイ 4/12 東館

あ・亡・が・き

◇福島第一原発の放射線漏れ事故、一刻も早く収束してほしいです。◇風評被害も深刻で、福島県に関わるすべてが被害を被っています。◇誰かが言っていました、「今回の事故は、福島県は被害者であって加害者ではない」と。◇なのに、「福島県から来たもの」を拒む人がいて、まるで悪者扱いされているといいます。国、東京電力にきちっとけじめをつけていただきたいですね。◇本来なら一番いい季節なのに、外出を制限されている子どもたちが可愛そうです。(青砥)